

広島銀行とのシステム共同利用および詳細検討に関する基本合意について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、MEJARに参加している4行（注）および株式会社エヌ・ティ・ティ・データ（以下「NTTデータ」、代表取締役社長 本間 洋）との間で、MEJARに株式会社広島銀行（代表取締役頭取 清宗 一男）があらたに参加すること、および6行によるシステム共同利用に向けた詳細検討を行うことに合意しましたので、下記のとおりお知らせします。

注. 株式会社横浜銀行、株式会社北陸銀行、株式会社北海道銀行および株式会社東日本銀行の4行

記

MEJAR（注1）はITコストの削減などを目的に、2010年1月（第1期）に横浜銀行が先行して利用を開始した共同利用システムです。2015年10月（第2期）に基盤更改を実施、2021年4月には、MEJARにオープン基盤を採用（注2）することに合意し、2024年（第3期）のオープン基盤稼働に向け、システム開発を進めております。

システム以外では、サイバーセキュリティ分野・DX分野・事務分野・サステナビリティ分野での連携を順次進めてきております。

今回、上記の取組みなどに賛同した広島銀行がMEJARに参加することに合意するとともに、広島銀行を含めた6行とNTTデータにてMEJARへのクラウド適用など第4期の検討を進めること、およびMEJAR以外のシステムの共同化についても検討を進めることに合意しました。

また、システム以外の分野での連携実現も検討してまいります。

七十七銀行は、6行によるシステム共同利用により、強靱な経営基盤を構築するとともに、お客様の利便性のさらなる向上を促進してまいります。

【システム共同利用を検討する範囲】

預金・為替・融資等の業務処理機能を担う銀行基幹系システムであるMEJARのほか、データの蓄積・分析を担うシステム、インターネットバンキング、営業融資業務の支援システムなど、現状5行で共同利用しているシステムについて、6行での共同利用を検討してまいります。

【MEJARの共同利用の時期】

2030年度の共同利用を前提に検討を行います。

- 1 -



【その他連携について】

MEJAR以外のシステムおよびシステム以外の分野については、引き続き、共同化・連携に努めてまいります。

注1. Most Efficient Joint Advanced Regional banking-system（最も効率的な先進的^{地方銀行}共同システム）の略。

注2. 共同利用する基幹系システムへのオープン基盤の採用は、銀行業界で初めての取組みとなります。また、本取組みは、金融庁が金融機関のシステムに関する先進的な取組みを支援するために設置した「金融機関システム・フロントランナー・サポートデスク」の支援案件にも認定されております。

以上

（関連するSDGs）



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

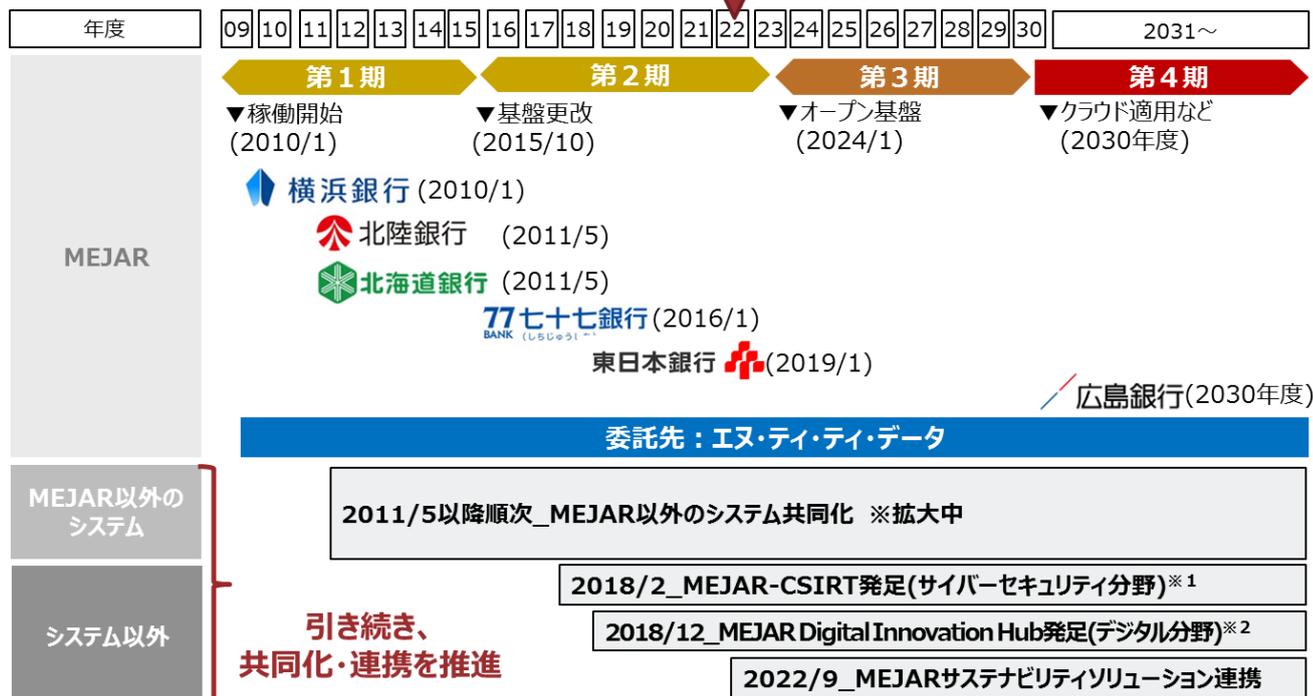
七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月より「SDGs実践計画」を策定しております。

(参考1) MEJAR参加行

6行の資金量(2022.3基準)
 <合計50兆円>



(参考2) MEJARの変遷・共同化状況



※1 サイバーセキュリティに関して、定期的な情報交換・態勢確認・共同訓練などを実施
 ※2 デジタル技術を活用した業務プロセス改革、チャネル・サービス改革などの各施策を協働で推進